

仕様

平場仕様 ZHM-200

| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|----|----------------|--------------------|
| 1 | 各種プライマー | *1 |
| 2 | エバーコートZero-1 H | 1.3kg |
| 3 | エバーコートZero-1 H | 1.3kg |
| 4 | 各種トップコート | 0.2kg*2 |

立上り仕様 ZHM-200L

| 工程 | 使用材料 | 使用量/m ² |
|----|---------------------|--------------------|
| 1 | 各種プライマー | *1 |
| 2 | エバーコートZero-1 H 立上り用 | 1.3kg |
| 3 | エバーコートZero-1 H 立上り用 | 1.3kg |
| 4 | 各種トップコート | 0.2kg*2 |

*1 下地の種類によりプライマーの種類と塗布量が異なります。詳しくは下記「■密着工法の場合の下地別適用プライマー」を参照してください。

*2 オートトップ・ワンとHGコート仕上げの場合、工程と塗布量が異なります。

■密着工法の場合の下地別適用プライマー

| 下地 | 適応プライマー | 塗布量 | タイプ/荷姿 | 使用方法 | 下地処理 | ウレタン塗布のタイミング | 備考 |
|--------|-------------|-----------------------|-----------------|----------|------|--------------|------------------------------|
| コンクリート | USウレタンプライマー | 0.2kg*/m ² | 溶剤系 16kg/缶 | そのまま使用 | 清掃 | 1日以内 | — |
| | オープライマー | 0.2kg*/m ² | 水系 16kg/缶 | 1:1混合・攪拌 | 清掃 | 2日以内 | — |
| | DSプライマー・エコ | 0.2kg*/m ² | 弱溶剤系 16kg/缶 | そのまま使用 | 清掃 | 2日以内 | — |
| | プライマーPW-F | 0.2kg*/m ² | 溶剤系 12kg/セット | 1:1混合・攪拌 | 清掃 | 2日以内 | — |
| ウレタン | 層間プライマーJ | 0.1kg/m ² | 溶剤系 12kg/セット | 1:1混合・攪拌 | 清掃 | 当日 | — |
| | 層間プライマーE | 0.1kg/m ² | 弱溶剤系 14kg/缶 | そのまま使用 | 清掃 | 2日以内 | 乾燥時間が長いので溜まりを作らないように注意して塗布する |

*新築下地のコンクリートで表面が緻密な場合、0.15kg~/m²の塗布量となります。

*弱溶剤系とは、トルエンやキシレンの他、有機溶剤中毒予防規則の対象物質を配合していないことを言います。

■使用材料一覧

| 製品区分 | 品名 | 荷姿・入目 | 適用 |
|---------|---------------------|--------------------------|---|
| プライマー | DSプライマー・エコ | 16kg/缶 | コンクリート、モルタル下地用 1成分形ウレタン樹脂プライマー(弱溶剤系*2) |
| | 層間プライマーE | 14kg/缶 | 既存ウレタン、既存塩化ビニル樹脂シート下地、及び塩化ビニル樹脂被覆鋼板用 1成分形ウレタン樹脂プライマー(弱溶剤系*2) |
| | オープライマー | 16kg/缶 | コンクリート、モルタル下地用 2成分形エポキシ樹脂プライマー(水系) |
| | USウレタンプライマー*1 | 16kg/缶 | コンクリート、モルタル下地用 1成分形ウレタン樹脂プライマー(溶剤系) |
| | プライマーPW-F*1 | 12kg/セット | コンクリート、モルタル、及び金属下地用 2成分形エポキシ樹脂プライマー(溶剤系) |
| | 層間プライマーJ*1 | 12kg/セット | 既存ウレタン下地用2成分形ウレタン樹脂プライマー(溶剤系) |
| | W-1*1 | 20kg/セット | HGコート用2成分形エポキシ樹脂プライマー(溶剤系) |
| ウレタン防水材 | エバーコートZero-1 H | 18kg/缶 216kg/ドラム(圧送用) | 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材 |
| | エバーコートZero-1 H 立上り用 | 18kg/缶 8kg/缶 | 特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水材 |
| トップコート | DSトップ・ゼロ | 15kg/セット | 2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート(弱溶剤系*2) |
| | ASトップ・ゼロ | 15kg/セット | 2成分形アクリルシリコン樹脂トップコート(弱溶剤系*2) |
| | フッ素スーパートップ・ゼロ | 10kg/セット | 2成分形フッ素樹脂トップコート(弱溶剤系*2) |
| | オートトップ・ワン | 15kg/缶 | 1成分形アクリルウレタン樹脂トップコート(水系) |
| | エクセルトップ*1 | 14kg/セット | 2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート(溶剤系) |
| | SQトップ*1 | 15kg/セット | 2成分形アクリルウレタン樹脂トップコート(溶剤系)速乾タイプ |
| 副資材 | HGコート*1 | 20kg/缶 | 1成分形無機質調アクリルシリコン樹脂トップコート(水系) 厚塗り高耐久保護仕上げ |
| | DFメッシュテープ | 100mm×50m/巻 | 通気緩衝シート用端補強テープ |
| | Zero-1専用促進剤 Cタイプ | 3.3kg/ポリビン | Zero-1専用硬化促進剤 |
| | Zero-1専用促進剤 速硬化タイプ | 3.3kg/ポリビン | Zero-1専用硬化促進剤 速硬化タイプ |
| | US環境キヤク剤 | 12kg/缶 | 環境対応型ウレタン塗膜防水材用希釈剤 |

*1 エチルベンゼン、メチルイソブチルケトン、スチレン、ジクロロメタンのいずれかが含まれているため屋内で使用の場合は特定化学物質障害予防規則の対象となります。

*2 弱溶剤系とは、トルエンやキシレンの他、有機溶剤中毒予防規則の対象物質を配合していないことを言います。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dyflex.co.jp/bousui/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年7月版

(*22.7月現在) 23.07.5,000 SJ



特定化学物質無配合 1成分形ウレタン塗膜防水材

エバーコート Zero-1 H

メッシュ無しウレタン塗膜防水密着工法の提案

ZHM-200工法

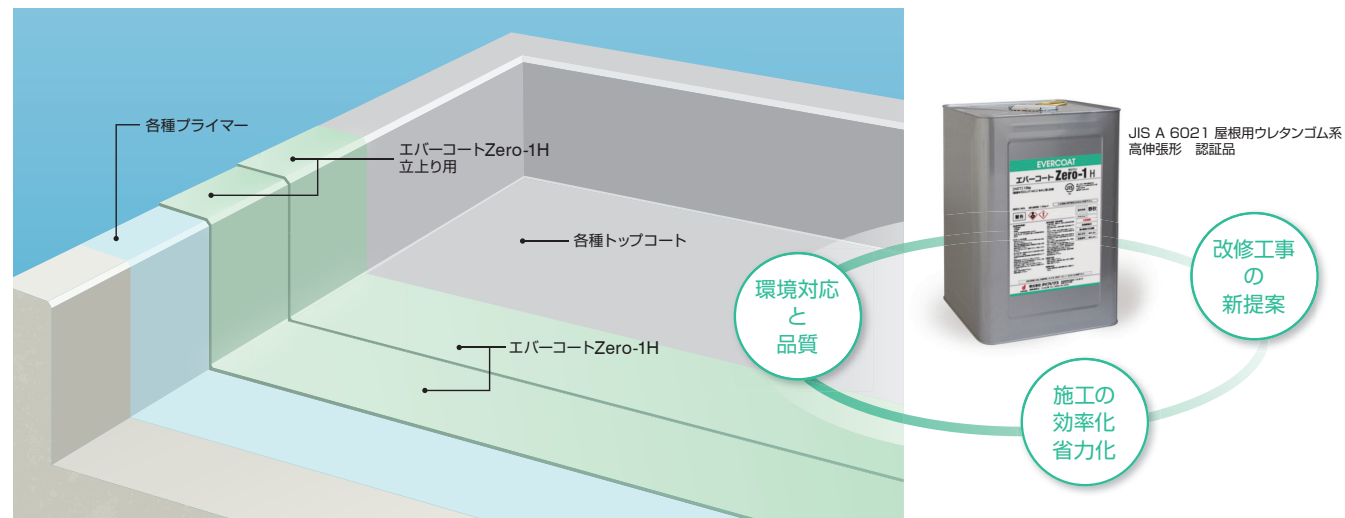
NETIS 登録番号:KT-210098-A/国土交通省

NETIS 登録番号:KT-210098-A/国土交通省

エバーコートZero-1Hの高い物性だから実現!!

ZHM-200工法は塗布量2.6kgでX-2と同等の性能を保持!

メッシュ無し密着工法ZHM-200工法（塗布量2.6kg）の物性は、X-2工法と同等。ひさしや小規模塔屋、ウレタン防水の改修（ウレタン防水のオーバーレイ）など、従来ではX-2工法が用いられていた部位へ、ZHM-200工法を提案いたします。



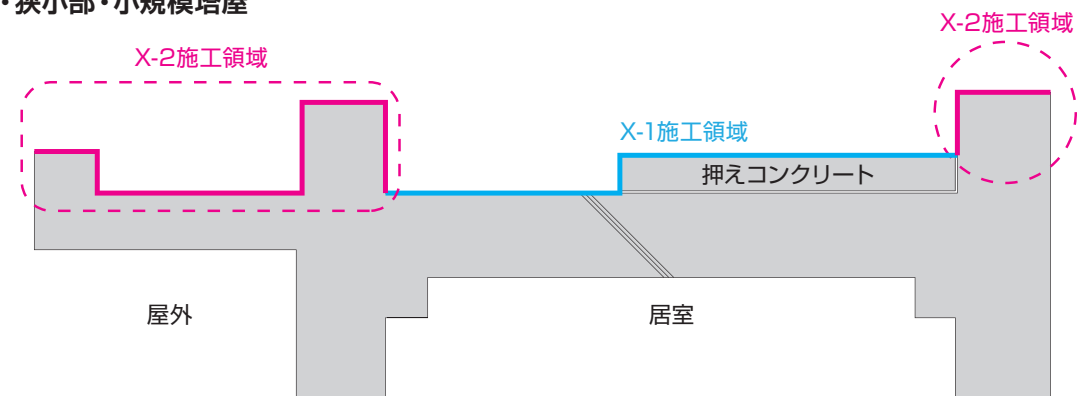
エバーコートZero-1Hは、従来のウレタンでは成し得なかった強靱性と高伸長性を併せ持つ新しい1成分形ウレタンゴム系塗膜防水材です。
一般的に、ゴム系材料の性能を表す「抗張積」の数値が、JIS A 6021高強度形規格の下限値700N/mmを大きく超える1000N/mm以上の数値を示しています。
この強靱性・高伸長性により下地のクラックに対する耐久性能を格段に高め、補強布に頼る事のないウレタン塗膜防水工法を確立しました。

| | X-2 / L-UFS | エバーコートZero-1H ZHM-200工法 |
|--------------|---------------------|----------------------------|
| | | メッシュ(補強布) |
| 塗布量 | 3.9kg(硬化物比重が1.3の場合) | 2.6kg |
| 引張強度(N/10mm) | 150 | 144 |
| 伸び率(%) | 680 | 760 |
| 引裂き強度(N/mm) | 16 | 24 |
| 抗張積(N/mm) | 680 | 1,100 |

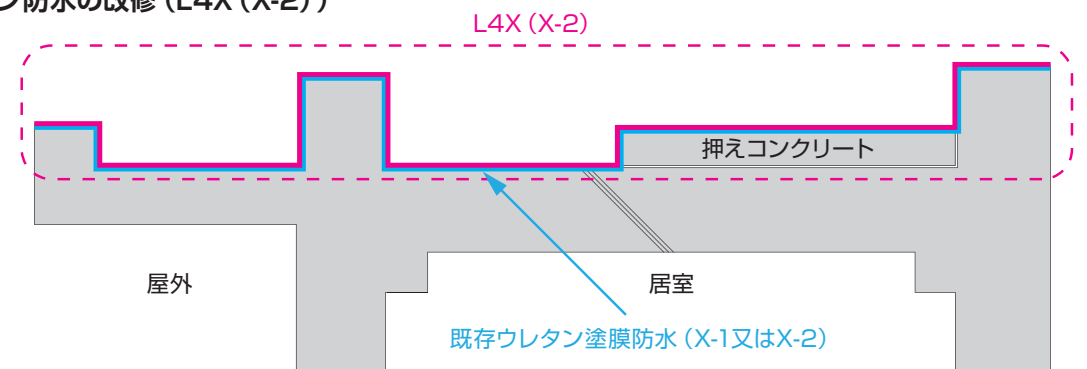
適用部位

補強布の必要性が従来より疑問の多かったひさし・狭小部やウレタン防水改修で適用できます。

ひさし・狭小部・小規模塔屋

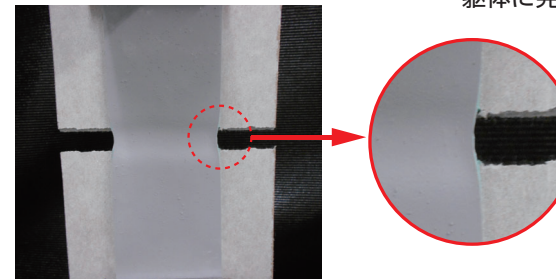


ウレタン防水の改修 (L4X (X-2))



ひび割れへの追従性

エバーコートZero-1Hの特長である高伸長&強靱性の性能により、躯体に発生するクラックの動きに対しても確実に追従する事が可能です。



ZHM-200工法 疲労試験結果

| 試験項目 | 区分 |
|------------|-------|
| 疲労 (A形試験体) | 疲労 A4 |

疲労 A4: 全ての劣化工程で試験体が破断しない13年分のクラック挙動に相当

工事期間・作業時間の短縮

補強布工程を削減することに加え、1成分形ウレタン塗膜防水材を使用することにより、一般的な2成分形に必要な計量・攪拌といった作業の省力化が可能となります。これにより工期短縮に加え、1日の作業時間も短縮可能です。

在来工法との作業工程数の比較

| 工程 (注1) | | X-2 / L-UFS | エバーコートZero-1H ZHM-200工法 |
|---------|-------------------------|-------------|----------------------------|
| 1 | プライマー塗り | ○ | ○ |
| 2 | ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り | ○ | 不要 |
| 3 | ウレタンゴム系塗膜防水材塗り | ○ | ○ |
| 4 | ウレタンゴム系塗膜防水材塗り | ○ | ○ |
| 5 | 仕上塗料塗り | ○ | ○ |
| 工程数 | | 5工程 | 4工程 |

(注1) 出典元: 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 平成31年版